

静岡文化芸術大文化政策学部2年。同大のボランティアサークル「ハビタット・フォー・ヒューマニティ・アジア」をまとめる。学生に家で眠る食料品の提供を呼び掛け、浜松市社会福祉協議会に寄付した。長野県出身。20歳。

—サークルの活動は。
「春や夏の長期休暇を利用して貧困国や被災地などに泊まり込みで行き、住宅の建築作業に取り組んでいる。現地の文化や食事のマナーを学んだり、活動資金を得るための街頭募金活動をしたりしている」

—食料寄付運動で工夫し

食料寄付運動に協力したサークルの代表を務める

こばやし ありさ
小林 杏里紗さん (中区元浜町)



この人

たことは。「講義の場やメールで呼び掛けたが、最初の数日間は一つも集まらなかった。メンバーがSNSで呼び掛けると徐々に提供してくれる人が増えて、とてもうれしかった」

—ボランティアとは。「『すごい』と言われる

のは違うと思う。やりたいから、できることをやっているだけ。貧困地域に行く」と現地の人はずごく思いやりや愛があると感じる。得るものが多い」

—抱負は。「国内の空き家問題や地域の住宅問題にも取り組んでいきたい。今メンバーは13人。人数が少ないとできることが限られてしまうので、サークルの知名度を上げて新しく入ってくれる人を増やしたい」

◇ 休日には友達と公園に出掛けるのが好き。
(浜松総局・鈴木侑季)